

緑風会 彦坂 公之 議員



- ①自主財源の確保について
- ②窓口サービスの充実について

質問① 安定的かつ持続的な自主財源確保の具体的な手法と「ふるさと納税制度」への対応策について問う。

答弁① 地方財政の中で自主財源比率が高まる中、市税の確保が、ますます重要となってきている。収納率の向上と財源確保のため、夜間窓口の開設・口座振替への啓発活動に取り組んでいる。今後、収納率向上と市民の利便性向上に効果があると思われる、コンビニ納税やクレジットカード納税導入などを検討したい。「ふ

※ふるさと納税制度…かつて住んでいた、子供時代を過ごした自治体など、居住している自治体以外の自治体に住民税の一部を納めることを可能とする制度。

るさと納税」制度への対応については、F-1や8耐などの資産を有効活用し、各方面にPRすることで「ふるさと納税」への呼びかけを行いたい。

質問② 市民視点に立った窓口サービスの充実について問う。

答弁② 市民視点に立った便利で満足度の高いサービス提供のあり方を検討してきた結果、土曜日、日曜日での開設を基本とし、本庁を含め市民の利用しやすい場所での開設の方向で調整している。可能な限り早期実施に努める。



新政会 中村 浩 議員



- ①鈴鹿市の産業活性化の展開について

質問①(1) 市民への負担が無いような歳入増の確保策として、どのようなものを想定し、具体策は。歳入増加につながる資本投下はどの様に考えているか。

答弁①(1) 具体策として、将来有望な優良企業の誘致等を図ることで、工業振興条例による支援として、平成20年度は約1億4,000万円を予定している。

質問①(2) 自主財源確保に関しての具体策は。

答弁①(2) 企業誘致等を図ることが最善策と認識するが、今年度から市ホームページへのバナー広告やC-

BUSの広告媒体としての収入を新たに予算化した。

質問①(3) 新規産業の誘致の現状は。20年度予算書には、明日に向かう企業誘致の姿がみえないが。

答弁①(3) 企業情報の迅速な把握と民間用地の積極的活用を中心に進めているが、将来的に産業インフラや公的工業団地の検討は必要と考えている。

質問①(4) 市街化区域の区分を見直し、北勢他市の手法を見習うべきではないか。

答弁①(4) 企業誘致の用地確保は、民間主導で市街化調整区域での地区計画制度を活用いただきたい。

質問①(5) 企業誘致課の設置は。

答弁①(5) 関係各部署が協議を重ね、検討したい。

公明党 伊藤 寿一 議員



- ①施政方針について(5項目9点)
 - (1)鈴鹿らしさ・強みについて
 - (2)安全で安心な暮らしについて
 - (3)住民に委ねた地域づくりについて

質問①(1) 市民の記念日に樹木の贈呈を。

答弁①(1) 緑花木普及事業の一環として昭和63年度から鈴鹿市植木まつり会場で「ハローツリープレゼント」として結婚、子供が1才未満、入学の方にハナミズキの苗をプレゼントしているが、新築の方等、対象を拡大し、充実してまいりたい。

質問①(2)-1 ※バイオマス利用の堆肥づくりの施設を。

答弁①(2)-1 本市の畜産業は63農家ある。中でも石薬師地区に多く集まっている。堆肥センターの建設につ

いては、周囲への悪臭等の影響など、場所の選定、運営主体、採算性、農家の負担、堆肥の利用先、運搬方法等、多くの課題がある。

質問①(2)-2 雨水利用による貯水槽について。

答弁①(2)-2 開発、商品化を鈴鹿商工会議所のグループが取り組んでいる。会議所を通じて、機能や価格、他所での取組状況等、調査し活用方法を研究する。

質問①(3) NPO・ボランティア支援センター設置を。

答弁①(3) 現在、市民活動を行う79団体が市に登録。独立した支援センターの設置については、情報収集や提供、相談支援、講座や研修、交流を行うことができる活動拠点施設として、設置場所、規模等、市民の意見を聞き、設置に向けて取組を進めていく。

※バイオマス…家畜排せつ物や生ゴミ、木くずなどの動植物から生まれた再生可能な有機性資源のこと。